



2019年3月11日発行
1947年10月27日発行
公益財団法人広島YMCA
〒730-8523
広島市中区八丁堀7-11
Tel: 083-228-1151
Fax: 083-211-0366
www.hymcagc.org
発行人 / 野村 博義
編集人 / 広島YMCA GCC
印刷 / (株)アールエス

YMCA News



広島YMCA創立80周年記念礼拝

創立80周年を迎え、 原点に立ち返った活動を。

2018年10月25日、広島YMCAは創立80周年を迎えました。重戦の足音が近づく1938年10月25日、広島女学院専門学校チャペルで発会式を行い、キリスト教青年会としての歩みを始めましたが太平洋戦争、原爆の惨禍により、多くの会員を失いました。しかし、1945年11月、3名の青年と3名のOBが再建を決意し、「広島復興YMCA」から「広島YMCA」へと名称変更し、1946年11月に八丁堀北側の国有地である借地社跡地（中央プラザ）に現在の地に成功オーストラリア軍YMCAから寄贈されたコンクリートハット（薄鉄型兵舎）2棟を建て、本格的な活動を開始しました。

1952年には北米YMCA世界青年復興資金から3万ドルが寄せられ、広島青少年、会員、職員が待ち望んだ会館が建築されました。その水飲み台は「世界青少年友情の泉」と名付けられ、広島YMCAに通う青少年の喉を潤しました。戦後の復興期から広島YMCAは世界中の方々、また、広島市民の大きな期待を支えられ、国際交流、国際協力、平和活動、地域奉仕、青少年教育、体育活動を柱に大きく成長し、今日に至っています。

時代の変化に伴い、広島YMCAの活動領域も大きな広がりを見せています。しかし、私たちの事業活動における使命の原点は何かを考える時、1950年代の広島YMCAのパフレットにその答えを見ることが出来ます。正に的を得た言葉であり、これからのYMCAの有り様を考える時、基本となる言葉であると思います。

現在、広島YMCAは、取り巻く社会環境の変革の中で大きな試練の時を迎えています。が先達の方々の志を受け継ぎ、広島にあるYMCAとしての使命を忘れず、「みつかる。つながる。よくなっていく。」YMCAとなるよう、日々前進してまいります。引き続き皆様のお支え

を心よりお願いいたします。2019年も神様の恵みが、皆様お一人一人に豊かに与えられますことを祈りいたします。

公益財団法人 広島YMCA
理事長 野村 博義

すべての少年と共に!!



1950年代の広島YMCAの パフレットより

智・徳・体の三育と社交の四方面に亘る近代的な「全人格教育」の理想のもとに小学生、中学生、高校生又勤労少年少女に勇氣と希望を与え、日常の生活指導と学習指導を父兄の理解と安心のうちに、たえず学校や家庭と連絡を保ちつつ放課後の余暇を最大限有効に利用して、勉強に遊びにいそしんでいただきたいものです。

YMCAは建物ではありません。運動なのです。学習活動を通じて人間性を形成してゆき、グループを通じて人間相互の信頼を高め、生活の中に自身の協働と友情と奉仕をみだし、よき中堅となって明日の社会に有為な人材を養成することを目的としています。

新たに取り組んだ 地域奉仕活動 YMCAクリスマス

12月2日(日)、中央プラザ コンベンションホールで2018年度のYMCAクリスマスを実施しました。

今年度は西日本豪雨災害の被災地、支援を必要としている子どもたちにクリスマスリースを贈ることをテーマに実施しました。

第一部の礼拝では、YMCAクワイヤーの方々とともに聖歌を歌い、広島YMCAチャプレンの澤村雅史先生による説教では、「近くにおいて苦しみの中にいる人たちに寄り添う」という本当のクリスマスの意味についてお話しいただきました。



澤村チャプレンとYMCAクワイヤーの礼拝サービス

第二部では、広島ワイズメンズクラブの皆さんからクリスマスリースの作り方を教えていただき、子どもたちはグループに分かれて思いを込めて飾りつけを行いました。



YMCAが主催する「こども食堂」の食卓にも併せられました。

みんなで作ったクリスマスリースは、豪雨災害の被災地にあるボランテアセンター、被災地の仮設住宅集会所、YMCAが運営する「こども食堂」に届けられました。楽しみながら、他者を思いやり、自分にできることを学んだ1日となりました。



子ども達は心を込めてリースを作りました。

交流会。ファンキージャムキッズの皆さんによる手話を交えたダンスをみんなで楽しみ、最後は広島ワイズメンズクラブのメネットさんが作ったクッキーが、サンタクロースから参加者一人一人にプレゼントされました。

92チームが参加 秋空の下、 みんなで走る チャリティーラン

素晴らしい秋晴れとなった11月23日(日)、広島中央公園にて「第24回広島YMCAインターナショナル・チャリティーラン2018」が開催されました。

過去最多の92チーム(総勢約550名)の参加者となり、1歳から84歳と幅広い年齢の方々が、様々なコスチュームを楽しみながら自分のペースで走ることができました。また、ワイズメンズクラブより美味しいトン汁とせんざいも振舞われ、心も身体も温かくなりました。

最後に、ご協賛いただきました多くのスポンサー企業の皆様、ワイズメンズクラブの皆様、参加者の皆様、そして大会運営をサポートしてくださったウエルネススタッフ、多くのボランティアの皆様にご心より感謝申し上げます。



チャリティーランで92チームが一斉にスタート



ICAN国際運営委員 川崎哲氏が講演

核兵器廃絶のためには 「市民社会の活動が重要」 川崎哲氏講演会

2月5日(金)ピースポルト主催、広島YMCA共催による川崎哲氏講演会(2019年 核兵器をなくすためにあなたができること)川崎さんと語る「広島YMCA多目的ホール」で開催されました。

最初の川崎哲氏による講演では、核兵器をなくすために市民社会の活動の重要性が訴えられました。引き続き、5名のパネリストによる核兵器廃絶のための活動報告が行われ、今後私たちが何をなすべきかについて活発な意見交換がなされました。会場の参加者の方々とパネリストの意見に真剣に耳を傾け、大きくうなずくシーンも見受けられました。世界最初の被爆地であるヒロシマから発信する情報は大きな影響力を持っています。日常の生活の中で、市民の一員として何を考え、行動すべきなのかを考えさせられる講演会となりました。

2018年度 国際協力募金ご報告 ご協力に感謝いたします。

広島YMCAでは11月〜翌年の2月末まで国際協力募金活動を行っています。今年度は特に、アジア各国で貧困の中に暮らす人々が自立して暮らせるよう、子どものケアや教育、医療、生活環境の整備、就業支援などを中心に募金活動を行っています。

広島YMCAは12月に街頭募金活動を実施し、その後、募金箱、窓口や振込による一口募金を展開いたしました。多くの皆様にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

募金にご協力いただきました皆様の
お名前は、次号の広島YMCAニュース
でお知らせいたします。

161万3千390円
2月末日現在



12月には街頭募金を実施しました。

西日本豪雨災害 広島YMCAの 被災地復興支援活動

7月6日19時40分に広島、岡山、鳥取に大雨特別警報が発表されました。この豪雨により、西日本を中心に多くの地域で河川の氾濫や浸水害、土砂災害が発生し、死者数が200人を超える甚大な災害となりました。

また、被災地では上水道や通信といったライフラインに被害が及び、交通障害が広域的に発生し、平成に入ってから最大の豪雨災害として最悪の水害となりました。広島県内では、広島市・呉市・福山市・三原市などの主要都市で広域かつ局所的な土砂災害が発生し、当時、復旧の見込みが立っていない地域も多く、早急な対策が求められていました。広島YMCAでは、広島市災害ボランティア本部と連絡を取りつつ、広島市各区(東区・南区・安佐北区・安芸区)のボランティアセンター(以後V)が立ち上がった上で、安芸区のセンターにいち早く人材の派遣やチャイルドケアスタッフ・看護師の派遣等を行いました。



支援物資も安芸区ボランティアセンターへ搬送



安芸郡坂町を中心に土砂掃きのボランティアを実施

全国からの支援が届く

また、日本YMCA同盟より、FCS(国際賛助会)からの多くの支援物資が届けられ被災地のボランティアセンターへ搬送を行いました。また、全国のYMCAに対してボランティアの要請を行い、8月末からは約1カ月にわたり、被害の大きかった安芸郡坂町の小瀬浦地区に土砂掃き中心のボランティア派遣を行いました。被災地へのボランティア派遣は、8月27日から9月28日の1か月間、全5期に渡り、全国のYMCA(東京・千葉・熊本・大阪・関東・関西)の学生YMCAから約50名が活動に参加しました。

ご支援いただいた 企業の皆様(敬称略)

コストコホールセール
株式会社アシックス
株式会社デサント
ご協力ありがとうございました。

復興支援はこれから リフレッシュキャンプ実施

9月末、被災地がようやく落ち着きを取り戻した頃、次の復興支援として、YMCAは被災地の子ども達を対象にしたリフレッシュキャンプを企画し、実施しました。

ワイズメンズクラブをはじめ、ワールドビジョンジャパンからの協力も得ながら、秋から冬にかけて合計4本のキャンプを野外教育センター協力のもと実施しました。子ども達のケアには、福山YMCAの社会体育科の学生を中心に、全国のYMCAからユースボランティアが参加。多くの子ども達が被災した当時のトラウマから開放され、思い切りキャンプを楽しみました。

このキャンプは西日本豪雨復興支援募金に支えられ、多くの子ども達に、生き生きとした笑顔と喜びを感じています。



多くの方々の協力で実施したリフレッシュキャンプ

西日本豪雨災害 被災者支援セミナー 「心のケア講座」 〜こどもといっしょに〜

12月15日(土)熊本YMCAの協力を得て、「心のケア講座」〜こどもといっしょに〜が開催されました。

7月に発生した豪雨災害において被害に遭われた方々は、まだ避難先の仮設住宅やみなし仮設など、生活に不安を抱える方も多く、心の反応の仕組みを知ることで、多くのケアが可能となります。また、被災した子ども達への対処やご家庭(個人)でのセルフケアを学ぶことで、子ども達の心の回復を早めることもできます。

講演の前半はEMDR学会副理事長、ニキハーティ・ホスピタル理事長、精神科医師でもある仁木啓介先生に心の反応の仕組みを学び、後半は教育財団優愛/ブレインジム理事長の今道久恵先生に、実際に体を動かしながら心のケアの仕方を学ぶ実践的な講座となりました。



仁木啓介先生、今道久恵先生から心と体の仕組みを学ぶ

YMCA災害復興支援 西日本豪雨災害募金 皆様の協力で感謝いたします

昨年7月から始まったYMCA西日本豪雨災害復興支援募金では多くの支援が集まりました。特に7月には会員の方々や子ども達と一緒に街頭に立つて、募金活動を行い、多くの市民の皆様にもご協力いただきました。

募金はYMCAが行う復興支援活動(支援物資や若者をボランティアとして派遣する活動、心のケアを目的にした講演会やキャンプ)に活用されています。ご協力いただいた市民の皆様・会員の皆様により感謝申し上げます。

西日本豪雨災害募金

475万9千425円

(7月末日現在)

義捐金をいただいた 企業・団体の皆様(敬称略)

- 日本福音ルーテル大江教会
- 日本聖霊神学校
- 学校法人横浜英和学院
- イエス団
- 日本ホーリネス教団
- 医療法人白井会
- (有)シンシシステムデザイン
- 御殿場ワイズメンズクラブ
- ワイズメンズクラブ北海道区
- ワイズメンズクラブ西中国部
- (広島)呉・福山・東広島・岩国みなぎ
- 広島ワイズメンズの会
- YMCA各ブランド
- (広島)東広島・福山・岩国・米子
- 岩国YMCA国際復興福祉専門学校同窓会
- 広島友愛福祉会
- 大竹友愛福祉会等

ご協力ありがとうございました。

聖書の窓

今月の聖句

あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。
(ペトロの手紙一 4章10節)

年明けから、広島でもインフルエンザが猛威を振りました。皆さんの中にも、ご自身やご家族が苦しい日々を過ごされた方、大切な予定が崩れて悲しい思いをされた方もいらっしゃるでしょう。そんな方に、次の言葉を贈りたいと思います。

「人生は美しく完璧な面だけを持っているのではないのです。そのことを常に意識のなかに呼び起こすことがとても重要だと思います。なぜならそれによって、人生の展望を狭めずにすむからです。病気とは何か、障害とは何か、そもそも通常の『人生』において、どれだけの病気や障害に耐えられるのかとわたしたちが問うとき、狭い展望のままでは許されません。(中略) そう問うことで、病気と健康を軽率に区別せずに済むのです(アンゲラ・メルケル著・松永美穂訳『わたしの信仰 キリスト者として行動する』より)

ここに示された人間観、人生観は、まさにYMCAが「ウェルネス」(Wellness) 概念として提唱するものに通じます(各人が、与えられたその状況の中で、自らの潜在的な可能性を最大限に求める生き方)。それは、自らのいのちを神からの賜物として受け取ることから生まれるありかたなのです。



広島女学院大学チャプレン
国際教養学部宗教研主任
広島YMCAチャプレン
澤村 雅史

★YMCA礼拝のお知らせ

4月19日(金)/5月17日(金)
13:30~14:15

3月の公益財団法人の活動

フィリピンワークキャンプ2019
3/14(木)~28日(木) フィリピン・セブ島他

広島YMCAでは、海外のパートナーYMCAと協働して国際協力・国際交流活動を実践し、「将来役立つグローバルな経験をとおして『主体的に考え、行動することができる』若者を育成する」ことを目的として、フィリピンでワークキャンプを実施します。セブYMCAのサポートのもと、一般的な海外旅行などでは体験することができないさまざまな活動を行なってまいります。

◆主な活動

1. ストリートチルドレンへの食事サービスボランティア
2. 台風被災地域の小学校建設や修復ワーク
3. ハワイ・フィリピン・セブ地域の若者と国際交流、他



毎年、広島県および中国地方の若者が、2週間、フィリピン・セブ島で行なわれるワークキャンプに参加します。ワークキャンプでのワークや現地での交流の経験が、若者を社会の一員として大きく成長させています。

2019年度 公益財団法人 広島YMCA主な活動予定

◆春の活動

- 原爆の子の像 建立記念式典 5/5(日)
- 広島YMCA会員大会 5/2(日)

◆夏の活動

- 第28回Global Youth Friendship ハノーバー国際交流 7/21(日)~8/11(日)
- 第59回Let's Get Together ホノルル国際交流 7/21(日)~8/2(金)
- 第41回広島YMCAコースピースセミナー 8/4(日)~8(木)
- 第15回平和のどろろろ流し 8/6(火)
- ユースアジア大会 8/31(土)~9/6(金)

◆秋の活動

- 全国YMCAリーダー研修会 9/21(土)~23(祝・月)
- 第64回広島YMCAチャリティーバザー 10/6(日)
- 第39回福山YMCAチャリティーバザー 10/14(祝・月)
- 西日本YMCAリーダー研修会 11/2(土)~4(祝・月)
- 第25回広島YMCAチャリティーラン 11/23(祝・土)
- 国際協力基金(街頭募金食む) 11月~2月末 強化月間

◆冬の活動

- YMCAピンクシャツデー 2020年2/26(水)
- フィリピンワークキャンプ 2020年3月中旬~末(予定)



広島YMCAネットワーク

【学校法人】

- ◎広島YMCA 〒730-8523 広島市中区八丁堀7-11 TEL 082-228-2266
- ◎福山YMCA 〒720-8522 福山市西町2-8-15 TEL 084-926-2211
- ◎東広島YMCA 〒739-0043 東広島市西条西本町28-6 サンスクエア東広島4F TEL 082-423-1717
- ◎YMCA米子医療福祉専門学校 〒683-0825 米子市錦海町3丁目3-2 TEL 0859-35-3181
- ◎岩国YMCA国際医療福祉専門学校 〒740-0018 岩国市麻里布町2-6-25 TEL 0827-29-2233
- ◎YMCAコンフォレスト湯来 〒738-0601 広島市佐伯区湯来町和田840-2 TEL 0829-83-0372
- ◎雲月山キャンプ村 山県郡北広島町土境 TEL 0826-35-0384

【社会福祉法人】

- ◎広島YMCA福祉会 〒730-8523 広島市中区八丁堀7-11 2号館 TEL 082-227-2884
- ◎広島友愛福祉会 〒739-0651 大竹市玖波4丁目8-8 TEL 0827-57-7500

【公益財団法人】

- ◎広島YMCA国際コミュニティセンター 〒730-8523 広島市中区八丁堀7-11 TEL 082-228-1151

【株式会社】

- ◎ユースサービス 〒730-8523 広島市中区八丁堀7-11 3号館 TEL 082-222-9500
- 【株式会社受託事業】
- ◎川・森・文化・交流センター 〒731-3501 山県郡安芸太田町大学加計5908-2 TEL 0826-22-2126